投　稿　要　綱

平成 30 年 12 月 9 日改定

内容

１．　原稿の様式（基本的な事項）
２．　論文様式のガイドライン
　１）一般症例報告の場合
　２）原著論文の場合
３．　共通注意事項

1. 原稿の様式（基本的な事項）

（一般症例報告、原著の様式のガイドラインはそれぞれ次項に記載）

1）原稿は和文または英文とする。

2）1 ページあたり、約 1,600 字とする。写真および図原稿は、5 枚組口腔内写真 800 字・デンタルエックス線組み写真（14 枚法・10 枚法）600 字・ヨコ 80mm 写真・図版 1 枚あたり 300 字として換算する。

3）原稿の表紙には、表題（欧文表記の併記）、著者名（欧文表記の併記）、写真・図表の数を記入する。別途，必要事項を投稿票に記載し、添付する。

4）写真および図表は、裏面に著者名を記入のうえ別紙に貼付し、必ず説明文を併記する。また、本文中への挿入箇所は原稿の欄外に明確に指示する。

なお、デジタルデータでの提出の場合、パワーポイント等のプレゼンテーションソフトに取り込んだ画像は強い圧縮がかかっているので必ず元データを添付して提出する。

5）日本語のある学術用語は日本語で記載する。

6）人名、地名などはできる限り原語を使用する。細菌名など学名は、生物学名表記法に準ずる。（イタリックは、原稿ではアンダラインで記す）

7）普通名詞は日本語表記し、必要がある場合には日本語表記に続け（パーレン）内に原語を記載する。

8）数字はアラビア数字（算用数字）、単位は次に準ずる。

㎜、㎝、㎞、㎎、㎏、ml、㎡、%、℃など

9）参考文献は叙述に直接関係のあるものにとどめ、本文中に~~は~~文献番号を付けて引用し、
本文末に引用順に下記のとおり記載する。

・引用文献が共著で 2 名の場合は連記し、3 名以上の場合は最初の著者 1 名ほかとする。
・学会発表の抄録を参考にした場合は、表題名のあとに（抄）を付記する。
・記載方法は共通注意事項（4）に準ずる。

10）歯周病学関連用語は特定非営利活動法人日本歯周病学会編の歯周病専門用語集に準ずる

2. 論文様式のガイドライン

1）一般症例報告の場合（希少例報告などで、原著論文となる場合は、後述 2）を参照

（1）タイトル

その論文の要点を的確に表すものであること。
原則として固有名詞は用いず、研究課題や研究手法、症例のキーワードを組み合わせて作成する。
長文となるときは主題と副題に分ける。

重度歯周疾患の１症例、　歯周疾患の長期経過症例、などのように症例の特徴がつかめないタイトルは避ける。

(2) 著者名

和文・ローマ字記載、所属支部・住所および指導医名を併記する。

論文の作成（データ処理，指導など）にかかわった者は共著者とする。当該の症例にはかかわったが，論文の作成にかかわらなかった者は共著者としない．名前を記したい場合は，謝辞に記す。–

(3) キーワード

論文の主題を端的に表現する単語を 3～5 語（６文字程度で１語)、重要な順に記載する。

(4) 緒言

当該症例を提示する目的と背景を記載する。これまでに報告された症例報告との異同を明らかにする。

（５）症例の概要

以下の順序、内容を簡潔に記載する。

①　患者情報：年齢、性別、初診年月、主訴、既往歴、特記事項など

②　現症：口腔内所見、X線所見、歯周組織検査所見など

③　診断

④　治療計画

治療経過とは区別し、最初に立案した計画を順序立てて記載する。

⑤　治療経過

著者の意見や考察を交えることなく、時系列に即して治療内容と経過所見のみを簡潔に記載する。治療計画と同じであれば治療計画通りおこなった、の記載でも可とする。ただし、各治療段階の時期の記載は必要である。

（６）考察

（５）の項目について、他の報告（過去の文献、発表）などを参考に考察する。

緒言で提起した問題に関しての著者の考えを示すが、推測、独自の考え方を述べてよいが、必要に応じて根拠となる文献を引用する。論旨が飛躍しないように注意すべきである。読者に対して教育的表現は避け、評価（批判）を仰ぐ謙虚な姿勢で記載する。

（７）結論（まとめ）

緒言に提起した問題に対する回答となる。

どのような症例に、どのような治療をし、結果はどうであったか、またその理由を簡潔に記載する。

(8) 謝辞

当該研究または論文の作成に直接関わった者に限定し、50 字以内で簡潔に記す。

論文作成にあたって，材料・機器の提供や，金銭的援助を受けた場合は，相手方とその援助の内容を明記し，利益相反の事実を隠さない。

(9) 参考文献

本論文中に参考(引用)した論文を、引用順に記載し、おのおの対照番号を付ける。

2) 原著論文の場合（一般症例報告は前項）

(1) タイトル

その論文の要点を的確に表すものであること。

原則として固有名詞は用いず、研究課題や研究手法、症例のキーワードを組み合わせて作成する。

長文となるときは主題と副題に分ける。

(2) 著者名

和文・ローマ字で記載、所属支部・住所および指導医名を併記する。

(3) キーワード

(4) 緒言

本研究目的と背景を記す。症例報告においては，当該症例を報告する目的と背景を記す。

(5) 対象および方法

一般的に周知されている方法を用いた場合は簡単な記載でよいが、著者が発案した研究法や調査法を用いた場合は、読者が追試できるように対象（材料）、器材、術式について詳細な記載が必要である。

患者のプライバシー保護のため、調査・症例対象を明確にできない場合は、場所の概略や病院の規模などを極力記載する。

(6) 結果

結果のみを記載し、推測などを記載しない。ここに考察は記載しない。

(7) 考察

文書が長い場合は項目に分けて簡素に記載する。

結果の繰り返しにならないように注意し、結果以上の主張をしない。ここに結論まで含めて記載　してもよい。

(8) 結論

緒言で提起した目的に対する答えを記す。総括の意味を含め、研究の概略が理解できるように構成し、考察の延長は避ける。また、得られた結果以上のことは記載しない。

(9) 謝辞

当該研究または論文の作成に直接関わった者に限定し、50 字以内で簡潔に記す。

論文作成にあたって，材料・機器の提供を受けたり，金銭的援助を受けた場合は，相手方とその援助の内容を明記し，利益相反の事実を隠さない。

(10) 参考文献

本論文中に参考(引用)した論文を、引用順に記載し、おのおの対照番号を付ける。

3) 共通注意事項

(1) 投稿の際しては、倫理委員会作成の投稿申請書に記入の上、編集委員長宛提出する。

（ホームページ、倫理規則・規定、２）学会へ申請する資料の「学会発表・投稿申請書」よりダウンロードしてください。）

(2) 図・表

図で使用する写真などはプライバシー保護に配慮する。患者を特定できる資料を用いる場合は，患者の許諾を得た上で，許諾を得ていることを図説に付記する（顔写真など）.

表のタイトルは上に、図のタイトルは下に記載する。

図の説明は、その説明で内容がわかるように、タイトル下に記載する。

細菌名など生物学名はイタリック（斜体文字）を使用する。（例 *Prophyromonas gingivalis*）（原稿ではアンダラインで記す）

(3) 文章・図・表

一文(センテンス)をできるだけ短く書き、解釈の仕方で意味が変わらないようにする。また、余計な修飾

語は用いない。

論文は書き言葉で統一し、「~と言われております。」といった話し言葉は使用しない。

「です。」「ます。」は使用せず、「である。」で統一する。

商品名を記載する場合は，本邦における商品名とメーカー名を記載する．

同義用語は統一する。

(例：レ線、レントゲン、デンタルなど→デンタルエックス線)

項目に番号を付ける場合は、１、１)、(１)、①　の順序とする。

年号は西暦で記載する。また、歯式は FDI 方式(Two-digit system)を用いて記載する．

(4) 参考文献

表記法は一律の表記法に修正するので､必ずしも厳密に以下の＜例＞に準ずる必要はないが, 原稿　には巻号，引用ページ，略誌名など必要事項を確実に記す。

翻訳雑誌については，著者名，論文名を欧文表記した場合は､原著の巻号年を記し，著者名，論文名を和文表記した場合は翻訳誌の巻号年を記す．

① 雑誌の場合

筆頭著者名，共著者名：表題名，学術集会名・学術雑誌名（略称）．巻番号（号番号）：引用ページ，発行・開催年．（DOI の記載は不要）

例：

1) Lindhe J, Ericsson I: The effect of elimination of jiggling forces on periodontally exposed teeth in the dog. *J Periodontol*, 53(9):562-567, 1982.

② 単行本の場合

著者名：書名．版．発行所，発行地，引用ページ，発行年．

例：

1) ＡＡＰ編：ＡＡＰ歯周疾患の最新分類．1 版．クインテッセンス出版，東京, 49-64, 2001.

③ 分担執筆による単行本の場合

分担者名：分担表題名．監修者名，書名，版．発行所，発行地，引用ページ，発行年．

例：

今川与曹：メインテナンス．石川　純，臨床歯周病学, 1 版．医歯薬出版，東京, 207-208, 1977.

④ 翻訳単行本の場合

原著著名（外国語），翻訳者名：翻訳単行本名．発行所，引用ページ、発行年．

例：

1) HF.Wolf ほか，日本臨床歯周病学会訳：ラタイチャークカラーアトラス歯周病学，第３版．永末書店，東京, 100-103, 2008.

⑤ インターネットサイトの場合

タイトルとともに URL を記す．ただし，参照年月日を（accessed 2024-6-3）のように併記する．